

平成 30 年度江田島市教育委員会 経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で通用する力を養う基盤づくりをし、次のステージで活躍できる児童生徒の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（学力・技能）」「徳（道徳心、人権尊重、他者理解）」「体（体力、耐力、健康）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、平成 29 年度は発生していない。

（平成 27・28 年度も発生していない。）

○全国学力・学習状況調査の平均正答率(B問題)については、平成 29 年度は小学校の全ての実施教科で全国平均を上回ったが、中学校は、数学で全国平均を 0.1 ポイント下回った。

（平成 28 年度は、小・中学校の全ての教科で全国平均を上回った。）

○生徒指導上の諸問題において、平成 29 年度不登校児童生徒の割合は、小学校 0.12%(1 人) 中学校 2.73%(11 人) であり、県の割合と比べて低いが、本市の前年度の割合より高くなった。

（平成 28 年度不登校児童生徒の割合 本市 小学校 0.00%(0 人)、中学校 1.60%(7 人)）

【生涯学習】

○学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成 29 年度来場者数は、学びの館 9,161 人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,111 人である。

（平成 28 年度来場者数学びの館 8,961 人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）770 人）

○スポーツセンターの平成 29 年度利用者数は 33,496 で、その内、トレーニング室の利用者数は、8,458 人である。

（平成 28 年度利用者数 7,872 人）

○図書館の平成 29 年度年間貸出冊数は、100,581 冊である。（平成 28 年度 103,767 冊）

（平成 28 年度年間貸出冊数 103,767 冊）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の 服務規律 の厳正 確保を図る。	教職員による 不祥事を0（ゼ ロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒 の学力の 向上を図 る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの変革推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。 ○ 各校で学力調査を実施・活用させ、学力の定着・課題の克服が図られるよう指導助言を行う。 ○ 学びの変革推進事業、ICT活用事業(市町挑戦加配)、理科教育推進事業(市町挑戦加配)、外国語指導事業を実施する。 ○ 学力向上に関する先進校を視察する。
	児童生徒 の豊かな 心を育成 する。	不登校児童生 徒数を減少さ せる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を児童生徒主体の「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 市主催研修（管理職、生徒指導主事対象）において、生徒指導体制の確立について講話を行う。 ○ 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が30日を超える前の段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。
	江田島の 「食」につ いて知り、 故郷への 愛着や誇 りを育て る。	児童生徒が地 場産品を知 っている割 合の増加を 図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用する。 ○ 市長部局（健康推進課）と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。 ○ 学校給食だよりで周知する。
	歴史資料 館の活 性化を 図る。	学びの館、大 柿地区歴史 資料館（灘 尾記念文 庫）の来場 者数の増加 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展「灘尾弘吉展(仮称)」を行う。（大柿地区歴史資料館） ○ 文化財等の展示企画を充実させる。 ○ 歴史に関する講座を企画する。 ○ 市民ギャラリーやものづくり教室の充実を図る。（学びの館） ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。
生涯学習	公共スポ ーツ施設 の利用促 進を図る。	スポーツセン ターの利用 者数増加を 図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介を行う。 ○ スポーツイベントに合わせ、パブリックビューイングを開催する。 ○ 障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介等に取り組む。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。
	図書館の 充実を 図る。	図書館年間貸 出冊数の増 加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録をためるための「読書貯金通帳」（大人・子ども用）を配布する。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、再度PRの強化を図る。 ○ 図書を受け渡し窓口（貸出・返却）の拡充を図る。